



「夏祭り」

7月21日、日吉病院の一年に一度の大イベントである夏祭りが行われました。

看板や薬玉などの準備は一カ月ほど前から患者さんとスタッフさんで協力して進められ、当日には色とりどりの飾り付けが中庭や病棟の壁を彩りました。



今年の夏は猛暑が続いており、当日も晴れて暑い日でした。

患者さんが開会を待ち望む中、12時に集まり、伊川院長のご挨拶で夏祭りが始まりました。伊川院長は開会の挨拶で、地域に開かれた病院にしたいとおっしゃっていました。

昼食時にはおぼんを持って、焼きそば・焼肉・サラダ・スイカ・お茶をもらい、食堂ホールとり入室で食べました。

焼きそばが目の前で焼かれて、いかにも祭りらしい雰囲気でした。スイカは大きくて甘く、おいしかったという感想が多く聞かれました。

中庭でかき氷・ポップコーンを食べながら、ヨーヨー遊びに参加しました。みんな釣るのが上手でどんどん釣っていききました。親子でヨーヨー釣りに集中している方もいらつしやり、楽しそうでした。



ポップコーンはカップ一杯をその場で作ってもらえて出来立てを食べられました。かき氷を作るスタッフの方は笑顔で注文者に渡していました。かき氷はとてもおいしくて暑さも吹っ飛びました。

午後のシネマでは「スイングガールズ」を觀賞しました。吹奏楽部の女子高生の青春を描いた物語でした。

終了後にとった夏祭りのアンケートには、最後まで楽しめた、とても良かったので時々こういう催しをしてほしい、家族も参加して楽しめたなどといった感想が寄せられました。

この夏祭りが、入院生活の楽しい思い出として皆さんの心に刻まれますようにと思います。

「新聞班でお手伝い」

夏祭りで壁を飾ったひまわりを再利用して新聞班も8月のカレンダーを作りました。ひまわりの中心は茶色の色紙にマジックで線を引き黄色のテープや色紙で花びらを作りました。葉も形を似せて色紙を切り、マジックで線を引きました。日吉病院にひまわりはないですが、葉っぱのうすめの緑色は黄色や茶色とよくマッチして夏らしい作品になりました。



「班活動」

*巻き絵班

7~8月はバラとスイカを作ったそうです。巻き絵は一つ一つのピースの出来で良し悪しが決まってしまうので、規格外と思われるピースもありましたが、みんなで一所懸命に巻いたそうです。曲線の多い所や小さな円形の所に貼りつけるのが難しかったそうです。

今回の作品はソーシャルOT参加者からの投票の結果、小リスが栗を抱えている図柄に決まったそうです。



*畑班

畑班では現在、ニラ・小松菜・バジル・ミント・苺を育てているそうです。

夏の暑い日差しの中、プランターを掃除したり、水はけ用のレンガを運んだり、育成中の花や食物への水やり、草取り、苗の成長に必要な間引き、種まき等の作業を頑張ったそうです。

現在、花中心から野菜中心にシフトしていますが、パンジーの種蒔きも行おうとのこと。

既に私達もミント入りの氷を紅茶に入れて頂きました。小松菜を食べるのを楽しみにして下さいとのことでした。

*物品・図書班

7・8月には希望者があった為、星の王子さま(サン・テグジュペリ著)と道をひらく(松下幸之助)の2冊を入荷したそうです。有名な本なので是非読んで下さいとのことでした。

最近では、赤毛のアン、五体不満足、おとなの教養などが入院患者に多く読まれているそうです。



「夏の甲子園」

第100回全国高校野球選手権記念大会は8月5日から8月21日に決勝戦が行われ、大阪桐蔭が2度目の春夏連覇を達成しました。



選手・母校・地元応援団の熱意が伝わってきて感動的なプレーが多く見られました。来年は神奈川県代表の活躍に期待しましょう。

「編集後記」

8・9月号は夏祭りの記事に全力投球しました。今年の夏祭りは皆さんの頑張りのおかげで充実したものになりました。来年も楽しい夏祭りができると良いですね。

最後まで読んで頂いてありがとうございます。